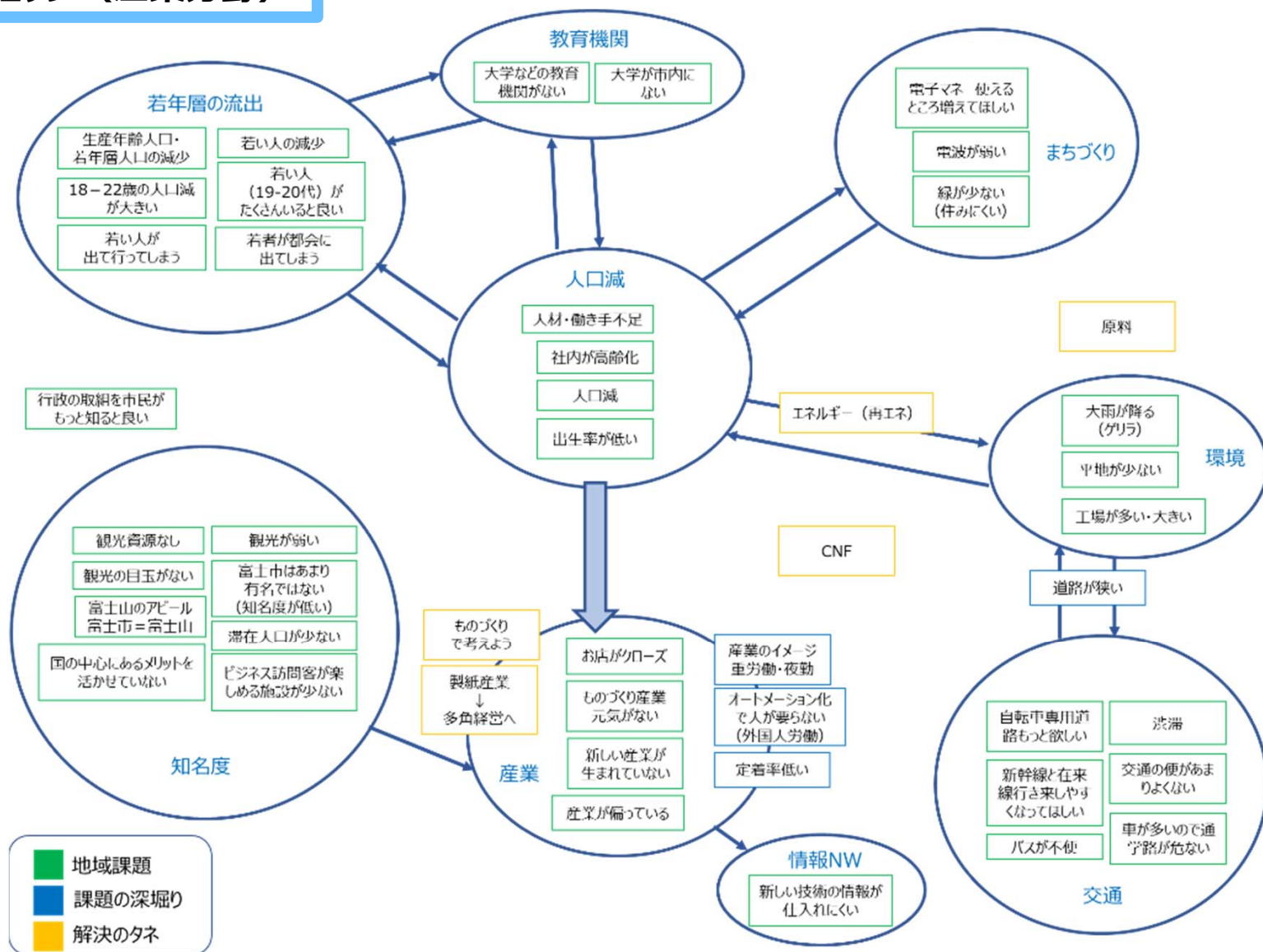


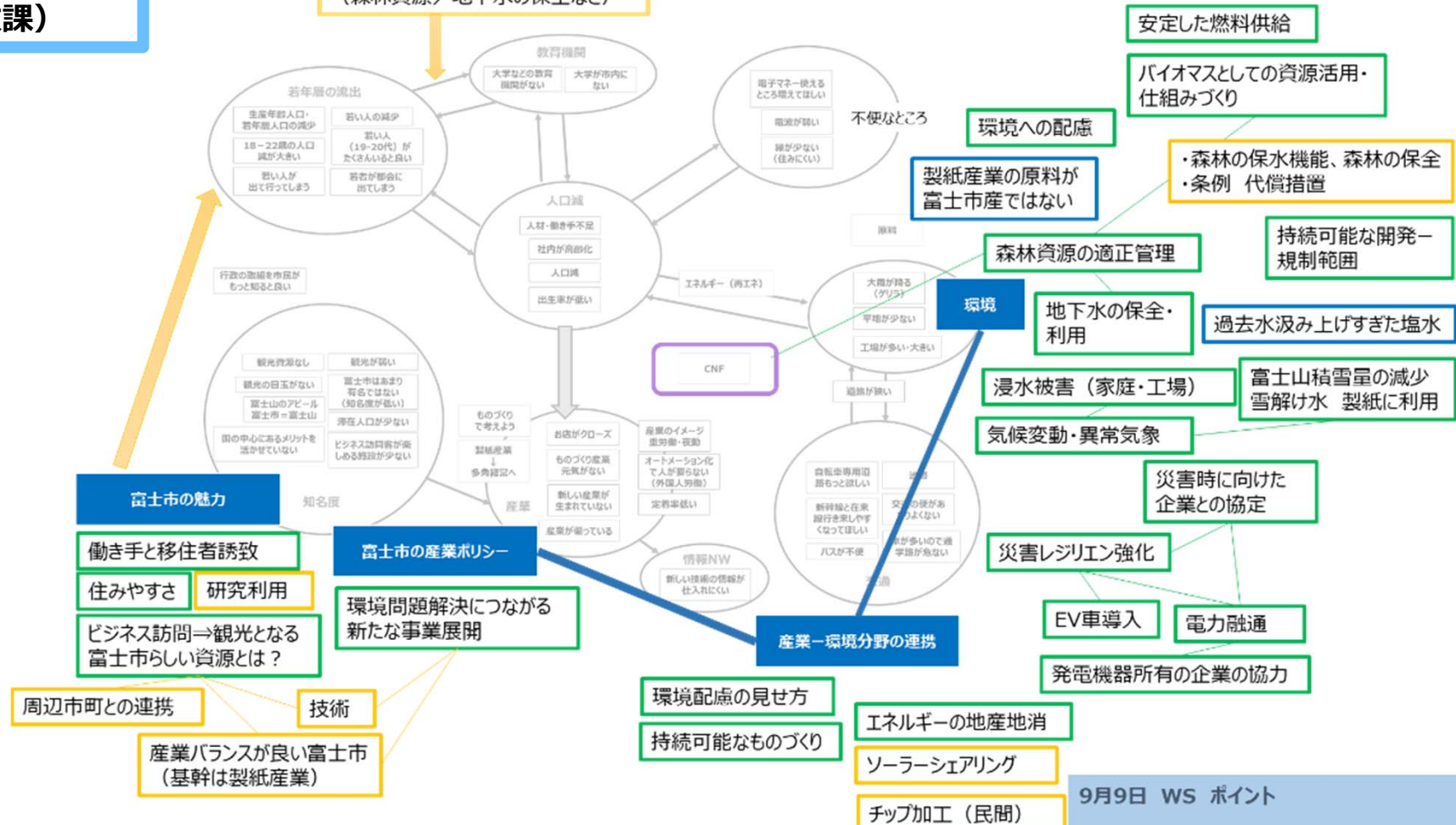
**令和3年度 記録
富士市
地域循環共生圏づくり**

6月25日 ワークショップ°（産業分野）



9月9日 ワークショップ (行政・複数課)

大学サテライト誘致
・研究題材ー地域課題とのつながり
(森林資源/地下水の保全など)



9月9日 WS ポイント

■住民、通勤者、(+移住者) から見た富士市の課題の相違
→「スタンダード」がそれぞれ異なる

■産業分野と環境分野を横断した取り組みが必要

9月9日 ワークショップ° (行政・複数課)

環境・経済・社会ごとの主なトピック

社会
・高齢化
・若年層域外流出

経済
・人材不足
・ビジネス訪問と観光の関連
・富士市の産業ポリシー
(持続可能なものづくり)

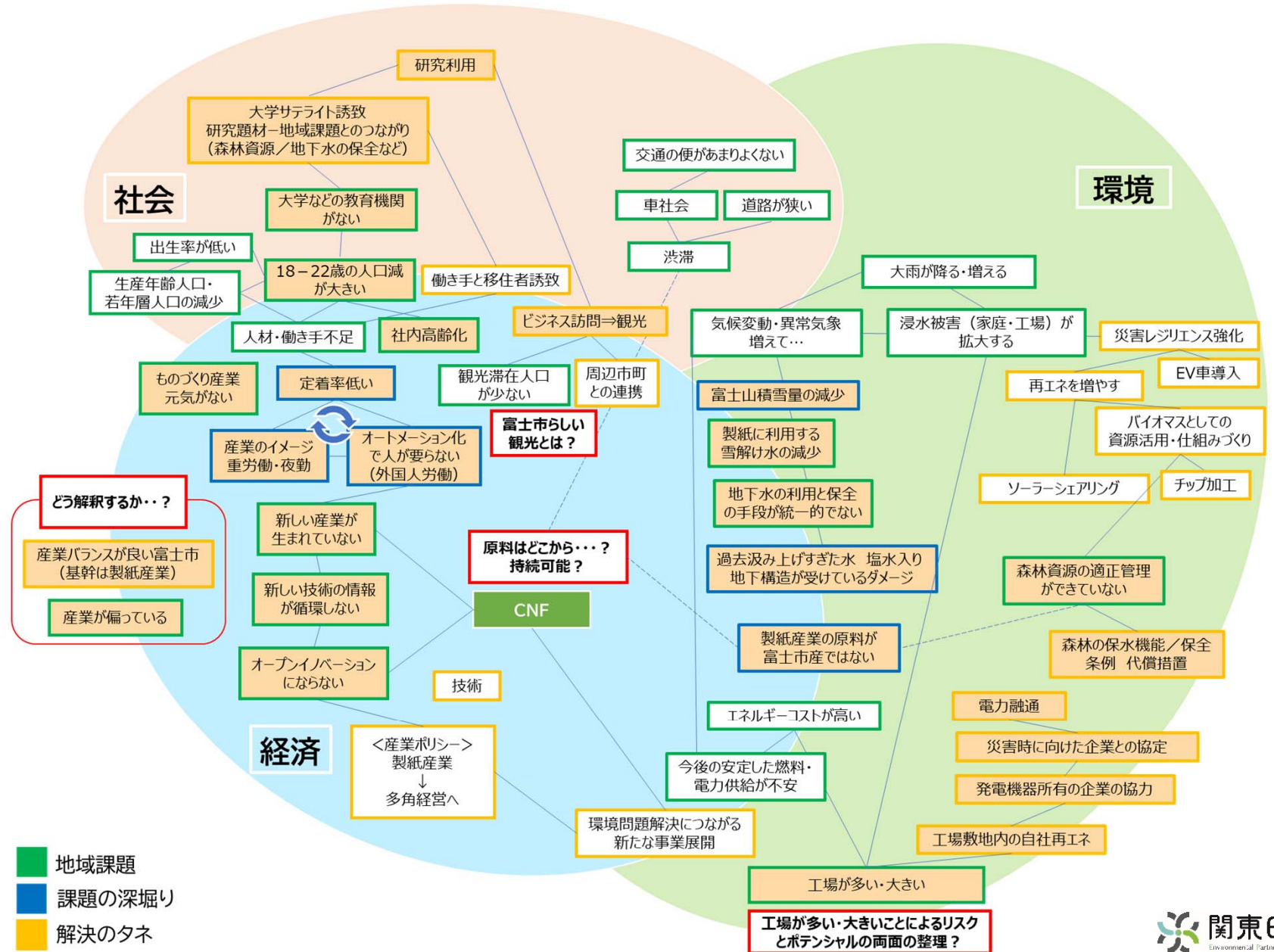
環境
・森林管理
・災害レジリエンス
・再エネ
・産業との連携具体案

凡例

この色のものは、
富士市ならではのネタ

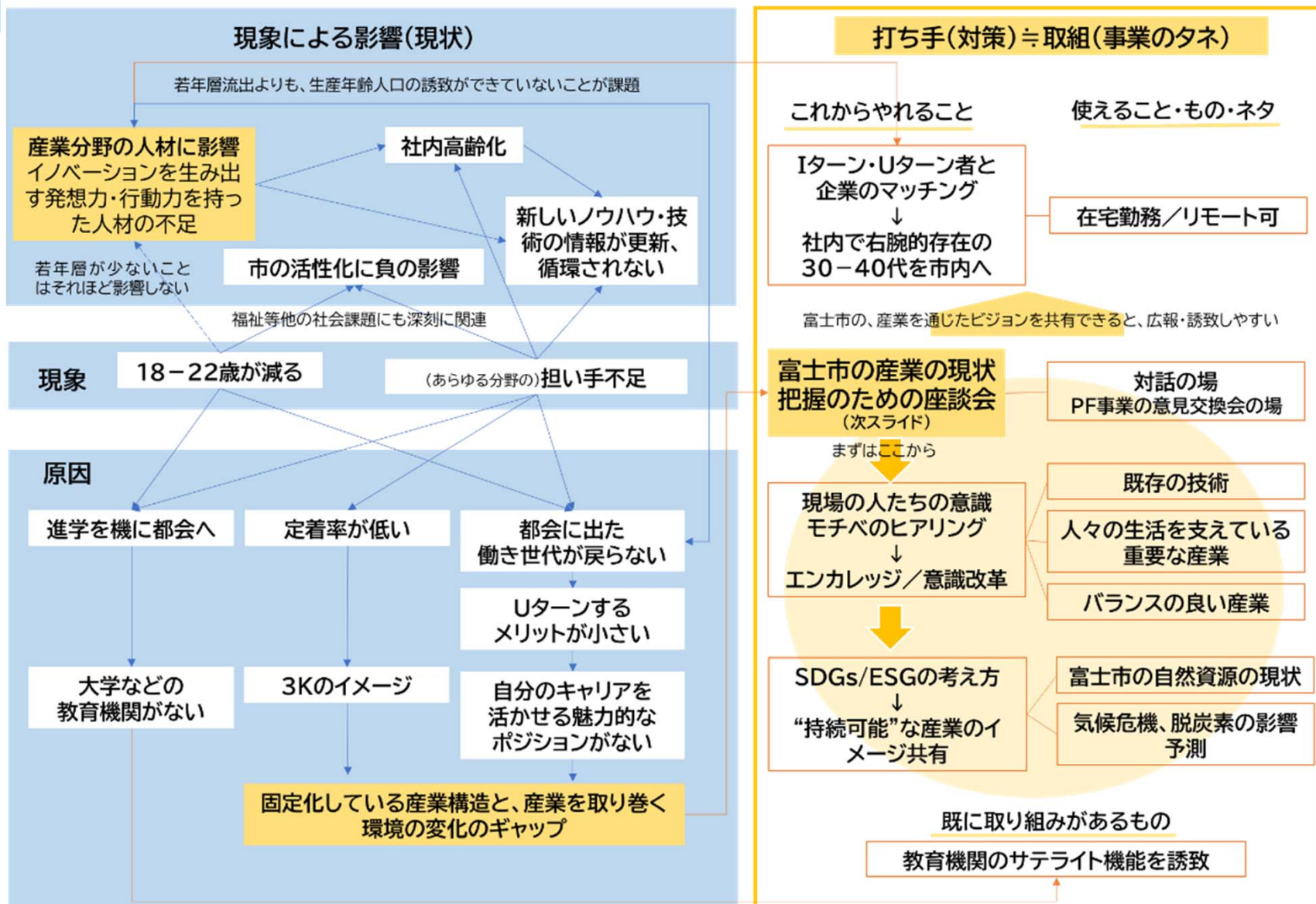
この枠色は、より掘り下げ
る必要があるポイントを
EPOが追記しました。

■ 地域課題
■ 課題の深掘り
■ 解決のタネ



9月30日 ワークショップ
(行政・複数課)

今回は、「人口減少」という、日本全体が関係する事象から、それが富士市にとってはどのような課題とつながっているのかを入りに、主に産業関連の内容を掘り下げました。



技術継承されない

選ばれなくなる

将来の課題

人材が不足している

<欲しい人物像>

右腕となる人…スキル・知見を持つ

Uターン者…同上

若者…新しい価値感を持つ

欲しい人材に選ばれていない

「製造業」から連想されるイメージが悪い

工業都市、作業服、きつい仕事、賃金安いなど

現状の課題

選ばれない背景1 発信力の弱さ

富士市の利便性・住みやすさ・自然環境の良さが知られていない

どんな職種・部署があるか知られていない

選ばれない背景2 世代間の溝

「ものづくり」の魅力が若い人に刺さっていない？

富士市で作られているモノの価値と若者世代の価値感にギャップがある

イメージが悪い背景

富士市＝「製造業のまち」が根底にある

作業服で歩いている人が多い

課題が生じる背景

すぐにできること：
製造業×〇〇〇

学生と一緒にものづくり

若者からもSNSなどのツールで発信してもらう

役所と出前授業の連携

高校生へのガイダンス

中期的視点：DXへの挑戦

説明会などオンライン対応

SNS(tiktok?)で発信

長期的視点：
可愛い子には旅をさせよ

1度外に出ることが大事！

できること

ありたい姿1 トガッた発信力

CNFを活かして若者に選ばれるイメージがある

富士市の良さを活かして、若者に良さが伝わっている

ありたい姿2 変態

魅力のある・夢のあるものづくり…IoT、DXでものづくりを大変革している

若者の価値観を把握することでモノの価値を変えている

我々自身も新しい気付きを得ている

新しさを知って古さを捨てる
ことができる

こうなったら最高

働き手だけではなく、富士市で暮らしたいと思う人がいなくなる

倒産…

ギャップは埋まらない／企業が育ててきたことが生かせない

将来の課題

人材が不足している

労働力となる人

富士市のことを知ってもらっていない

若者に選ばれない町

現状の課題

発信力の弱さ

求職者が知らない／知ろうとしてもらえない

企業はどう考えているか知りたいが知る機会がない

富士市…
良いところはあるのに、ちゃんとPRできていない

この町で暮らしたい／居たいと思う人がいない

課題が生じる背景

すぐにできること

合同企業ガイダンス
in富士市官民協働で

キャラバンとして地域外にもアプローチする

中長期の視点

“富士市版”キャリア教育

できること

ありたい姿1 域外認知度UP

富士市以外の人材からも知られている

ありたい姿2 Uターン増える

富士市の子どもが帰ってくるかも

こうなったら最高

取組がバラバラになる

環境に負荷をかけ続ける

将来の課題



パートナーシップ形成
が不足している

共通認識が持てていない

現状の課題

共通認識を持つまでの壁1
二項対立の考え

産業界を敵視する環境団体

共通認識を持つまでの壁2
SDGs等社会的情勢への感度の差

SDGsの深さが伝わらない

共通認識を持つまでの壁3
情報共有の場がない

SDGsの取組が個々

市民が企業の動きを知る機会がない

課題が生じる背景

すぐにできること

若者の価値観を探る

市民に知ってもらう機会を作る

パートナーシップのきっかけ
は「メリットを共有する」or
「想いを共有する」→想いの
共有の方が、良いパートナ
ーシップになる

できること

あいたい姿

こうなったら最高

産業の元気がなくなる
発想が拡散しない
ガラパゴス化

将来の課題



CNFを
活かしきれていない

企業同士ががっちり組めない

CNFって???

現状の課題

社内・外のイノベーション

会社のパワーバランス

企業はリスクを取りにくい

異業種の協働は、メリットがない
ので起きにくい

企業間の共同研究がない

自社の技術をオープンにしない

CNFって何？

知名度が低い

課題が生じる背景

すぐにできること

同じ産業／分野ごとの共同研究はある

SDGsを旗印に、一つにしていく動き

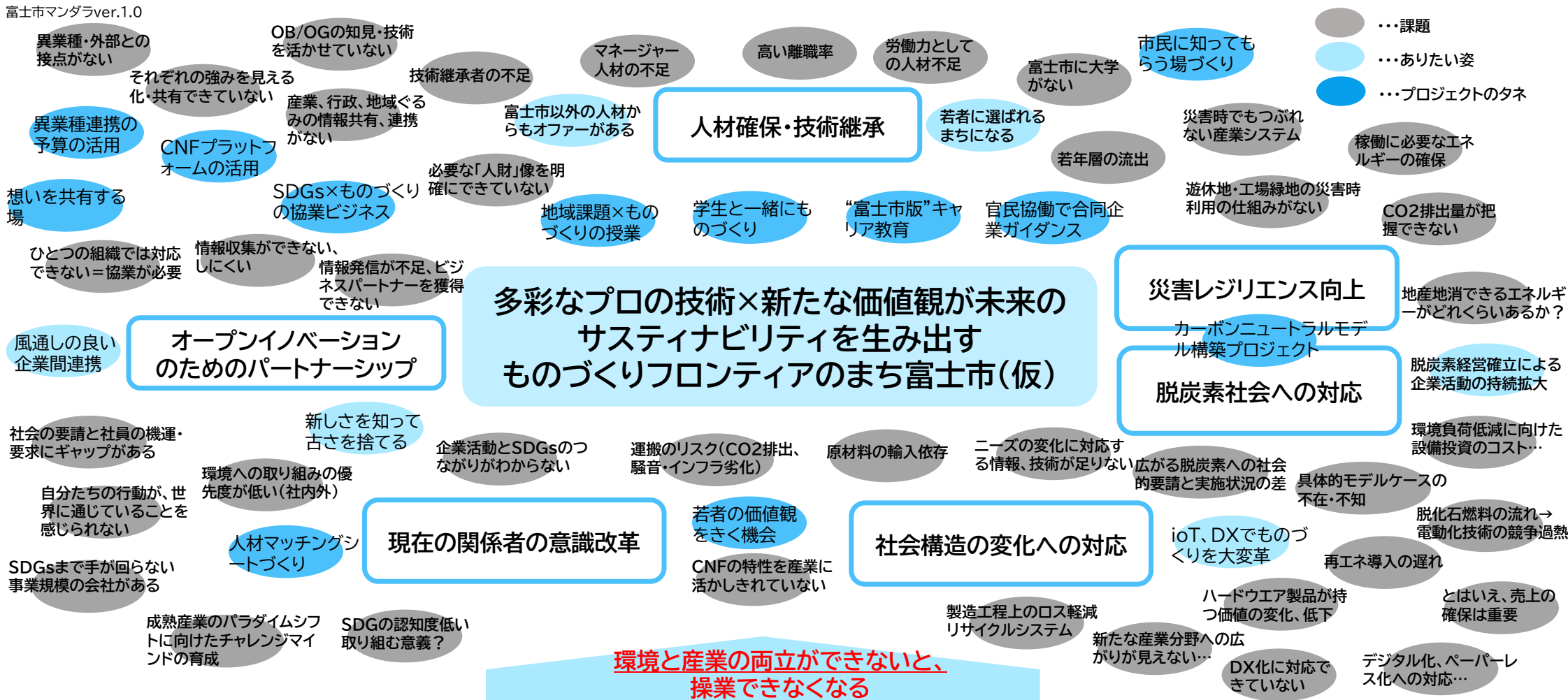
できること

ありたい姿

企業間の風通しを良くしたい

ウハウハしている人を増やす

こうなったら最高



ものづくり産業を取り巻く現状

経済

ESG
投融資

社会

サステナビリティの
追求

少子高
齢化

環境

自然資源
の有限性

気候変動

前提として…

◆自然資源に依存する大量生産大量消費型のライフスタイルを続けることが、地球環境に影響し、結果的に人類が生存できなくなる可能性(持続不可能性)が高まっている。＝SDGs、ESG投融資が台頭する本質的理由

◆経済合理性を追求する従来のビジネスモデルの限界＝バリューチェーン全体を俯瞰して捉えなおす必要性